



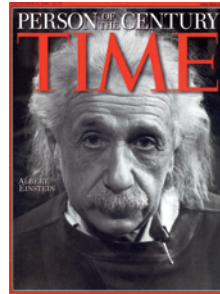
宇宙物理・数理科学研究室

Astrophysics & Mathematical Sciences Group, OIT

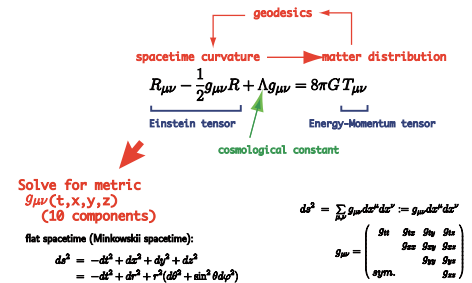


指導教員 真貝寿明

数値シミュレーションを中心とした、宇宙物理・相対性理論・数理科学の研究室です。卒業研究では、自然現象・社会現象のモデル化と数値解析を1人1テーマで行います。指導教員の専門は、理論物理学（一般相対性理論）です。数理科学・物理学・コンピューティングが好きな人、どうぞ。



The Einstein equation



現ゼミ生 (2016年度)

大学院修士	山本 峻
卒業研究生	内海航平 葛城孝之 阪田雅哉
	西田大輝 花岡信行
情報ゼミ生	安倍弘剛 大塚基広 岡田航汰
	河上寛太

ゼミ内容

- 卒研ゼミ ☆ 相対性理論に関する教科書の輪読
- ☆ さまざまなシミュレーション技法習得
- ☆ 卒業研究進展報告 (1人1テーマ)
- 情報ゼミ ☆ 宇宙に関する話題についてのレポート作成と発表
- ☆ 数値計算・宇宙に関する教科書・洋書の輪読
- ☆ 常微分方程式の数値計算方法の習得と計算課題 (太陽系シミュレータの作成、地球-一月系への隕石落下、三体問題の特殊解、人工衛星フライバイ、ラグランジュ点の安定性など)

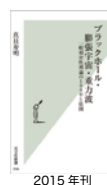
求める学生像と指導方針

卒論 = (物理) × (数学) × (プログラム)
 大学院生 = 世界最先端の相対性理論研究

物理学・数学を駆使することに抵抗の無い、意欲的な学生を歓迎します。物理や数学でこれまで「点」を取れていなくても、「好き」か「苦にならない」ならばよしとします。プログラミングの得意不得意も問いませんが、何事にも問題の解決に向けて努力を惜しまない態度が必要です。情報ゼミでも、卒業研究でも、発表テーマ・研究テーマは、学生自身が自ら決定し遂行する形をとっています。学生諸君の「好奇心」「探究心」を応援します。

最近の研究活動

- 科学研究費補助金採択 いずれも基盤研究 (C) 研究代表
- ☆ 平成 25 年度 --29 年度 「拡張重力理論における非線形ダイナミクス」
 - ☆ 平成 22 年度 --25 年度 「高次元時空における時空特異点形成条件の解明」
- 指導教員の著書/訳書/校閲書



2015 年刊



2015 年刊



2016 年刊

12月5日
丸善出版より発売

卒業研究テーマ例

* 印は 2016 年度着手

☆宇宙物理系

- 重力レンズ効果による画像の変形*
- 水星の近日点移動の再現*
- ブラックホールに吸い込まれるガス重力レンズ効果
- 多重ブラックホール効果
- 宇宙論パラメータと宇宙モデルの可視化
- 宇宙検閲官仮説とブラックホール形成条件の判定
- ブラックホール潮汐力による星の破壊条件
- 多体問題の安定性と初期値依存性

☆可視化・教材系

- コンピュータによるホログラフィの生成*
- エッシャー図とペンローズ・タイリング
- 顔の描き方の統計解析
- 高速ロケットから見える世界
- 古代日本の星座を描く星座盤作成
- 木の葉の落下運動
- レイトレーシング法による太陽光

☆数理科学系

- 四色問題パズルソルバーの製作*
- 風紋の形成*
- 確率過程による経済変動記述の試み*
- 人工衛星スウィングバイ
- 生態系とカオス
- 数独パズルの難易度判定
- 多面体への投影ツール作成とその応用
- 人工知能を組み込んだゲーム制作
- 泡の合体
- 鉄道運行制御システムの構築
- インフルエンザワクチン配布モデル
- 競馬の勝ち馬要因の多成分分析

新書にて、卒業論文が紹介されました。



河津秀明君(2008年卒業、宇宙物理・数理科学研究室)「日本人と宇宙」二間瀬敏史(朝日新書、2013年5月刊)